

令和5年度

# 事業計画書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## 光市文化センター事業計画

光市文化センターは、昭和55年の開館以来、光市の特色を踏まえながら歴史、芸術、科学などの文化活動を通して、市民への文化交流の機会を提供し、市民の文化活動に対する理解と親しみを深めるための事業を展開してきた。昨年度は令和元年度から続く新型コロナウイルスの感染予防対策を取りながらの事業実施であったが、予定していた事業をほぼこなすことができた。しかしながら光市美術展をはじめ多くの展覧会等において、出品者数や出品作品数の減少、鑑賞者数の減少など新型コロナウイルスが本市の文化芸術活動面にも大きな影響を及ぼしており、これから文化芸術活動の活性化を如何に図っていくかが大きな課題である。

課題解決に向けて今後も基本的な感染防止対策や新しい生活様式への行動変容を踏まえながら、令和5年度は文化センターの果たす役割や使命感を意識した活動を展開し、かつ本館のもつ機能を十分に活かしながら教育や文化の充実発展に寄与するとともに、「文化の創造は市民自らの手で」の趣旨のもと、引き続き地域文化の継承・発展に地道な努力を続けていく。また、文化活動の拠点として、造形活動の推進、歴史・民俗資料の調査・保存・啓発、自然科学分野の啓蒙等を行うとともに、下記の事業を実施し、地域に根ざした運営を目指す。

企画展では、第17回目となる「光市作家展」を実施し、市内の作家の紹介に努めながら造形活動に対する理解と普及を図る。また今年度は、レンタルアート展と巖島虹石没後120年展（仮称）を開催し、館蔵美術品・資料や寄贈された作品を市民に広く紹介することにより、市民の芸術活動に対する興味・関心を喚起するとともに、様々な分野の文化活動の底辺拡大を推し進めながら活性化を図っていく。

第19回目となる「光市美術展」では、広報活動を強化し、広く市民より多くの作品の募集に努めるとともに、美術を通じた交流を促進する。また今年度で12回目を迎える市民参加の「わが家所蔵の美術品展」も引き続き実施する。

教育普及活動では、歴史・文学を中心とした講座として「成人大学講座」、夏休みに小学校4～6年生の児童を対象に「夏休み子ども陶芸教室」を引き続き開催する。また、令和元年度から独自の取組みとしてスタートした「ひかり歴史文化探検クイズラリー」を寺社編1として引き続き行い、郷土の歴史や文化財等を多くの市民に知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的活用例としていく。さらには昨年度、新たな事業として、小学校3年～6年生の児童を対象に「夏休み科学教室」を実施したが、今年度は中学年（3・4年）と高学年（5・6年）に分けてそれぞれ1回行い、科学の楽しさや面白さを体験することで、科学への興味・関心を高めるとともに、子どもたちの科学する心や研究への意欲付けの一助としたい。

以上のような事業を推し進めていきながら、市民に愛され、地域に親しまれる施設を目指して邁進していきたい。

## 1 常設展示

### (1) 美術展示室

企画展や貸館の合間にテーマを設定して展示を行い、できる限り多くの館蔵美術品や書画・写真等を市民に公開する。特に、近年寄贈されたものや未公開作品を中心に展示を行う。

### (2) 歴史民俗展示室・自然史展示室

基本的には通史展示を踏襲するが、歴史的事象の節目や学校教育のカリキュラムに即した展示となるよう、歴史・民俗資料の選定、更新を行う。

## 2 企画展示

### (1) 第42回濤美展 会期 4月7日(金)～4月16日(日)

毎週木曜日に実施している絵画教室の作品展で、1年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。

### (2) レンタルアート展 会期 5月13日(土)～7月2日(日)

平成10年からスタートした「絵画貸出事業」で、アマチュアの描いた作品を光市民及び光市内の事業所等に貸し出しをする事業である。その一環として作品を展示し、絵画貸出事業の周知と利用促進を図り、生活や仕事の場に彩を与えるとともに、絵画に対する興味・関心を高めていくために実施する。また、今回のレンタルアート展では、これまでの作品に新たな作品を十数点加え展示する。

### (3) 光市作家展 会期 6月10日(土)～6月25日(日)

作家として光市に深く関わりを持って活躍されている人の作品展を開催し、より多くの市民や美術愛好家にその作家の姿を知ってもらう。また、作品や人柄を通して、多くの人に影響を与えている作家の紹介は、造形活動を広めることになる。

今年度は、文化センターの絵画教室に所属している洋画の「進ミツ子」氏と松涛窯に所属している木彫・陶芸家の「吉田浩」氏を紹介する。

### (4) 第19回光市美術展 会期 10月25日(火)～11月5日(日)

市民参加の公募展として、光市をはじめ光市教育委員会、光文化協会、当財団が一体となり実施する。会期は、部門別に前期、後期に分けて実施する。

平成29年度から、大賞受賞作家の更なる活躍と創作の支援を目的に、大賞受賞作を購入し、常設で公開し顕彰する。

### (5) 巖島虹石没後120年展(仮称) 会期 11月19日(日)～1月21日(日)

今年度は、光市三大作家の一人である日本画家の巖島虹石(1869～1903年)の没後120年にあたるため、文化センターが長年収集した作品と所蔵家の出品協力を

得て展覧会を開催する。この画家展をとおして、郷土出身の画家を市民に広く紹介するとともに、絵画に対する興味関心を喚起し、芸術活動への意欲の高揚と底辺の拡大を図る。あわせて、貴重な作品が将来にわたって大切に継承されることを期待する。

(6) 文化センター水彩画教室展 会期 3月

隔週日曜日に実施している水彩画教室の作品展で、一年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。

(7) わが家所蔵の美術品展 会期 3月

家庭や事業所などにある愛蔵・秘蔵品を持ち寄り公開することで、個人コレクションを広く市民に鑑賞してもらうとともに、市民同士の文化交流の一助とする。また、貴重な作品が将来にわたって継承され、後世まで語り継がれていく機会とする。

### 3 教育普及活動

(1) 成人大学講座

郷土山口県、光市に関わりのある人物、歴史・文学に関する内容を中心に、教養講座を開催する。定員45人とし、年間7講座で、受講料は年間1,500円とする。

講 義 内 容	講 師	開 催 日
毛利家よもやま話	旧徳山藩毛利家 14代当主 毛利 就慶	5月20日(土)
大内氏を支えた人々 ～大内氏家臣の仕事と暮らし～	山口市立歴史民俗資料館 学芸員 田村杏士郎	6月17日(土)
江戸・明治期の書物に見る地域の文化 ～光市文化センター所蔵の古典籍をめぐって～	島根大学 教 授 田中 則雄	7月15日(土)
種田山頭火と山口(仮題)	山頭火ふるさと郷土館 学芸員 高張 優子	8月19日(土)
清水宗治・景治とその時代	光地方史研究会 会 員 重国 俊夫	9月16日(土)
山口県の怪異伝承を読み解く ～人文学の視座から～	梅光学院大学 教 授 倉本 昭	11月18日(土)
下関戦争～講話交渉の真実～	下関市観光政策課 学芸員 田中 洋一	12月16日(土)

※令和元年度から当財団の経費で実施している。

(2) 絵画教室

基礎的な知識、技術を身に付けた成人を対象に、デッサン、油彩画の実技指導により技量の向上を図る。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講師 河村純一郎先生（洋画家、行動美術協会会員、周南市在住）

開催日 毎週木曜日

(3) 水彩画教室

初心者を対象に絵画の基礎から指導し、絵画人口の底辺を拡大する。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講師 岡村 毅先生（創美会会員）

開催日 毎月第1、第3日曜日

(4) 彫塑教室

造形活動の中で、立体分野における発展を願って実施する。立体造形に関する基礎的な知識と、創造的スキルを修得してもらい普及していく。会員は20人を限度とし、希望者は随時入会を受け付ける。

代表 下川正孝（市美展招待作家）

開催日 毎月第2、第4土曜日

(5) 湯呑みづくりの会

陶芸による湯呑み作りや、茶道用具制作の基本技術の習得及び現代的な陶芸作品作りを目指し、この会を自主的な同好会の一翼として発展させる。会員は、15人を限度として希望者は随時入会を受け付ける。

講師 村山嘉憲先生（陶芸作家）

開催日 毎月第1、第3水曜日

(6) 夏休み子ども科学教室

小学校3～6年の児童を対象に、科学実験や物づくりを通して、科学への興味・関心を高めさせ、自然に関する理解を深めさせるとともに、子どもたちの科学する心や研究への意欲付けの機会とする。併せて自ら学び自ら考える力や創造性の基礎となる力を育ませていきたい。

講師 奥屋隆伸先生、佐々木幸二先生

開催日 7月22日（土）：3・4年生 7月29日（土）：5・6年生

定員 中学年（3・4年）、高学年（5・6年）それぞれ20人

(7) 夏休み子ども陶芸教室

小学校4～6年の児童を対象に、「湯呑みづくりの会」の協力を得て、発達段階に応じた焼き物作りを体験させる。この教室での活動をとおして、造形に対する興味・関心を

高め、併せて当館の活動に目を向けさせていく。

講 師 湯呑みづくりの会

開催日 7月23日(日)、8月5日(土)

定 員 30人 参加費 500円

- (8) 小中学生の社会科見学や総合的な学習、高等学校の歴史・美術教育への対応  
各学校の教育活動に即応した資料収集及び展示を行い、社会科見学や総合的な学習、  
歴史・美術教育の内容を充実させるとともに、学校教育現場との連携を図っていく。

- (9) ひかり歴史探検クイズラリー寺社編1

光市には、貴重な史跡、有形文化財が数多くある。これらの史跡、有形文化財及び文化施設を多くの市民に知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的活用  
例としていく。具体的には、参加者にマップとクイズ帳を配り、クイズラリー形式で文  
化財、史跡、資料館(伊藤公資料館、ふるさと郷土館、光市文化センター)を巡っても  
らう。指定された32箇所の内、16箇所以上を廻り、クイズに10問以上正解すれば  
修了とする。

対象者：誰でも参加可能。ただし、小学生以下は保護者が必ず同伴で廻ること。

期 間：7月7日(金)から11月12日(日)

修了者：記念品を贈呈

#### 4 絵画貸出事業

新しい作品を含めたレンタルアート展を開催したり、財団の情報誌『虹』や当館のホーム  
ページ、市広報等により、鑑賞機会の増加と広報活動を積極的に行い利用者の拡大を図る。

#### 5 資料収集活動

- (1) 美術資料の収集

光市ゆかりの物故作家の作品を中心に収集し、館蔵美術品の充実を図る。

- (2) 歴史・民俗資料の収集

江戸時代から昭和前期までの歴史・民俗資料を中心に収集し、歴史・民俗展示室の  
充実を図る。

#### 6 資料の整理

- (1) 長年に渡る資料収集活動からくる慢性的な収蔵場所の不足や、新たに収集する資料の  
収蔵場所を確保するため、民俗資料保存の基本ルールの作成や収蔵庫の保管棚の改修を  
検討する。

- (2) 平成28年度から進めている清水家文書、難波家文書の解読作業を、郷土史家の協力を得て継続するとともに、解読した古文書の編集・電子化に向けて取り組んでいく。

## 7 市民の文化活動等への協力

- (1) 文化活動の発表や学習の場を提供し、市民サービスに努める。
- (2) 学校現場等へ学習教材として館蔵資料等を提供する。

## 光市民ホール事業計画

光市民ホールは、開館以来、市民文化活動、芸術文化・舞台芸術の中核・拠点施設、並びに市民の集会場として、光文化協会等の関係機関・団体との連携により、市民夏季大学をはじめ、音楽、演劇、伝統芸能などの各種文化関係事業及び貸館事業を実施してきた。

しかし、令和元年度に発生が確認された新型コロナウイルス感染症により、社会・経済活動は低迷し、芸術文化を取り巻く環境は大きく変化してきている。

こうしたことから、国や県、市において様々な感染予防対策が実施され、発生から3年が経過した現在、一定程度の重症化抑止が図られてきていることから、社会・経済活動の再開に向けた取り組みが進められているところである。

光市民ホール等の公立文化施設も、基本的な感染防止策を継続した上で、社会・経済活動と感染防止を両立させた新しい生活様式・スマートライフに合わせるとともに、多様化・高度化が進む市民ニーズに的確に対応し、市民文化の向上に向けた優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、下記に掲げる事業を実施することとし、地域の文化拠点としての役割を果たしていく必要がある。

### 1 自主文化事業

#### (1) 第51回市民夏季大学

市民夏季大学は、昭和47年の市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の間に広く定着している。近年の社会環境の変化により、受講年齢層、受講人数等が変化していく中で、多様化する市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するために、各界で活躍している話題性が高く集客力のある著名人を講師として招く。

講師のキャリア、経験や体験談等を直接見聞し、その成果や教訓、幅広い識見からの考え方や含蓄のある人生論等を学ぶ市民教養講座、生涯学習講座として開催する。

第1講座	日時	7月7日(金)	18時30分開演
	講師	木山 裕策 (歌手)	
	演題	今、歌を通して伝えたいこと ～世界に一つだけ my sweet home～	
第2講座	日時	7月27日(木)	18時30分開演
	講師	桂 宮治 (落語家)	
	演題	言葉の魔力 人を惹きつける魅力とは!?	
第3講座	日時	8月3日(木)	18時30分開演
	講師	坪内 知佳 (株GHIBLI 代表取締役)	



演題 漁師集団“萩大島船団丸”の再建  
～新しい6次産業の創造に向けて～

会場 大ホール

(2) その他自主文化事業

ア 第7回ストリートダンスフェスティバルin光

日時 4月2日(日)

会場 大ホール

内容 中学校保健体育でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加し、市民の関心も高くなっていることから、ダンスを学ぶ児童や生徒を対象に、日頃の活動や練習の成果を発表する機会を提供する。

イ スタインウェイピアノ開放事業

第15回ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ!

日時 5月13日(土)・14日(日)

会場 大ホール

内容 初心者から高齢者まで幅広い層を対象に、市民ホールが所有する世界的に有名なピアノ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の場を提供する。

ウ 精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

日時 5月28日(日)

会場 大ホール

内容 高校吹奏楽部の国内最高峰といわれる精華女子高校吹奏楽部を招聘して吹奏楽コンサートを開催する。

エ 小学校演劇教室(学校引率)

影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」

日時 6月8日(木)

会場 大ホール

対象 市内小学校5・6年生

内容 次代を担う小学生の情操教育の充実及び芸術文化学習の推進を図るため、市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供する。今年度は劇団影法師(東京都)を招き、影絵劇を鑑賞する。

オ 横田神楽団特別公演(会員招待公演)

日時 6月18日(日)

会場 大ホール

内容 光の文化を高める会の会員招待公演として、広島県安芸高田市の中でも特に技巧に優れた「横田神楽団」を招き、「ひろしま安芸高田神楽」を鑑賞する。（会員以外は有料）

カ 古典芸能公演

日時 9月3日(日)

会場 小ホール

内容 落語、講談などの優れた古典芸能の鑑賞会を、市内の落語愛好グループ「光がんざき亭」との共催で開催する。

キ 第36回市民コンサート

日時 9月10日(日)

会場 大ホール

内容 音楽を愛する個人や団体が一堂に会し、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供する。出演する児童・生徒については、今後の活躍と飛躍を期す機会とする。

ク フォークコンサート“元気です”2023

日時 10月15日(日)

会場 大ホール

内容 吉田拓郎、井上陽水、かぐや姫の名曲カバーで人気のグループ「永谷青空とクロスリバー」によるフォークコンサートを「クロスリバー」との共催で開催する。

ケ 宝くじ文化公演「岸谷香アコースティックコンサート」

日時 11月11日(土)

会場 大ホール

内容 一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじの社会貢献事業として毎年開催している「宝くじ文化公演事業」に申請し、採択されたので、光市との共催で「岸谷香アコースティックコンサート」を開催する。

コ 優秀映画鑑賞会

第7回光市民ホール名画劇場

時期 日程調整中(2月予定)

会場 小ホール

内容 優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、文化庁及び国立映画アーカイブ

により実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、廉価な入場料による映画鑑賞会を開催する。

サ バンカラ ～バンドでカラオケのど自慢～

日時 2月25日(日)

会場 大ホール

内容 「音楽を通じて光市をより元気なまちにしたい！地域の皆さんに笑顔をお届けしたい！」を合言葉に、市内の音楽団体「ナミーズ」との共催で、生バンドによるのど自慢大会を開催する。

シ 第9回 アラ還フェスティバルin光

日時 3月3日(日)

会場 大ホール

内容 市内及び周辺地域で演奏活動を行っている、概ね還暦世代の音楽愛好バンドに演奏の場を提供する。

## 2 施設・設備の整備

来館者の安全を確保し、快適な施設環境を維持するため、定期的な機器等の更新に加えて、築50年を超え、老朽化した施設・設備の経年劣化箇所についても、光市教育委員会と協議しながら改修・更新を行う。

## 3 市民文化意識の高揚と文化事業の広報

- (1) 財団友の会（通称：光の文化を高める会）の会員の増加を図るとともに、会員向けの広報活動の推進に努める。
- (2) 財団情報誌『虹』やホームページ及びフSNS等を活用し、各種自主文化事業の周知を図る。
- (3) 各報道機関への情報提供に努める。

## 4 貸館業務

指定管理者としての認識のもと、舞台芸術や市民文化活動の拠点施設、また、社会経済活動等の場として、地域に根ざした使いやすい施設の維持、管理に努める。

## 光ふるさと郷土館事業計画

光ふるさと郷土館は、港町室積の商家の建物を活かした伝統文化の継承とふるさとの歴史・文化の発掘、資料の収集・展示を行うとともに、地域の活性化を図るため、光市の観光や地域文化の創造・発表の場として特色ある運営をめざす。

### 1 常設展示

江戸時代以降、室積に寄港していた北前船に関する資料、醤油の醸造道具や漁具、商家の帳場の展示などをおして、当時の室積の果たしていた役割や人々の生活、文化などを紹介する。

### 2 ギャラリー展示

タイトル	出品者	会期
親子3人 切手はり絵原画展 ～継続して花ひらく～	中野恵子 他	4月15日(土) ～4月30日(日)
楽しむ書 七人展	佐々木松涛 他	5月9日(火) ～5月21日(日)
百龍アート展(仮)	阿部郁子(春葉)	6月1(木) ～6月10日(土)
五感で感じる郷土の夏 昔の絵ハガキ展(仮)	光ふるさと郷土館	7月15日(土) ～8月27日(日)
絵画と書展(仮)	石田雪音	9月9日(土) ～9月24日(日)
はがき絵展(仮)	守田房子 他	10月7日(土) ～10月21日(土)
さくら耳のねこの 絵画・写真展(仮)	岡崎美穂 他	12月1日(金) ～12月17日(日)
郷土館のひなまつり 源氏物語(仮)	光ふるさと郷土館	2月3日(土) ～3月10日(日)

### 3 イベント等

- (1) 郷土館端午の節句 4月22日(土)～5月5日(金・祝)
- (2) 普賢まつりの開館時間延長 5月14日(日)※19時まで開館延長
- (3) 普賢まつりの臨時開館 5月15日(月)
- (4) 郷土館夏企画「五感で感じる郷土の夏」

- サメの歯展示(県漁業光支店所蔵) 7月15日(土)～8月27日(日)
- (5) ふるさとクイズラリー(祝30周年記念) 9月 1日(金)～催事以外の日で通年
- (6) 室積秋まつり展(光市室積山車保存会) 10月 1日(日)～10月8日(日)
- (7) 早長八幡宮秋まつりの開館時間延長 10月 8日(日)※19時まで開館延長
- (8) 郷土館のひなまつり 2月 3日(土)～3月10日(日)

#### 4 教育普及活動

##### (1) 古文書講座

毎月、光市関係の古文書を中心とした解説講座を開催

##### (2) 小中学校の社会科見学や総合学習への対応

学校の教育活動に対応した資料の収集及び道具を使って学ぶ体験学習を中心とした見学と説明

##### (3) 講座や教室の開催

###### ア 歴史講座

(ア) 郷土史を中心とした教養講座 2月 10時～12時

###### イ 体験教室

(ア) 親子で作る鯉のぼり 4月29日(祝)

(イ) 親子で作る竹細工 7月22日(土)

(ウ) 藍染め体験 7月30日(日)

(エ) 親子で作る水鉄砲① 8月11日(祝)

(オ) 親子で作る水鉄砲② 8月12日(土)

(カ) 竹で作る干支 11月26日(日)

(キ) ミニ門松作り 12月24日(日)

#### 5 その他

- (1) 地域観光の拠点施設としてマスコミ・地域の関連団体との連携や情報交換
- (2) ギャラリー展示者の発掘及び生涯学習の推進
- (3) 貸し部屋の利用促進
- (4) 郷土館運営懇話会の開催